

【第 40 回】

新年度が始まります。新型コロナウイルス感染症も落ち着き、自由に行動ができるようになってきました。でも、睡眠を削ってまで行動を広げてはいけません。今回は睡眠の大切さについて説明します。

【睡眠を甘くみることなかれ！】

大学生活は自由さゆえにやる事が多く、忙しい生活に陥りがちです。でも、睡眠は健康と学業成績に直接影響を与えるため、睡眠の大切さを再認識しましょう。睡眠は時間と質の 2 つの観点から考える必要があります。

まず、睡眠時間。一般的に、成人は 7～9 時間の睡眠時間が推奨されます。大学生は学業、社会活動、アルバイトなどで忙しく、睡眠時間が不足になりがちです。その中でも、十分な睡眠時間は確保しましょう。身体的、精神的な健康を維持するために不可欠です。十分な睡眠時間が確保されると、記憶力や学習能力が向上し、ストレス耐性も高まります。逆に、睡眠不足は集中力の低下や注意力の散漫さ、イライラなどの問題を引き起こす可能性があります。

次に、睡眠の質について考えてみましょう。睡眠の質は、睡眠の深さや連続性を言います。質の良い睡眠を得るためには、まずは睡眠環境を整える必要があります。静かで暗い環境、快適な寝具、適切な温度などが質の良い睡眠をサポートしてくれます。また、健康的な睡眠習慣を身につけることも重要です。規則正しい睡眠スケジュールを保ち、就寝前にリラックスする習慣を持つことが質の高い睡眠を促進します。寝る前の PC やスマホの操作は厳禁です。

大学生は多忙な生活を送っても体力があるため睡眠不足を感じることは少なく、睡眠時間や質に注意を払うことが難しいかもしれません。でも、十分な睡眠時間を確保し、質の高い睡眠を得ることは大学生活を楽しく快適に送るための重要な要素の 1 つです。皆さん、睡眠はあなたの健康と成功に不可欠です。あなたの将来の健康と幸福に繋がるものとして一度考えてみましょう。(文責:佐藤 浩樹)